

研究室同門：鬼平会（旧生命薬学講座・三浦研究室）の皆さん、お元気でしょうか。今年を振り返ると、これまでで最も多忙な1年だったように思います。第26回日本骨粗鬆症学会会長を拝命し、3年前から準備を進めてまいりました。地元の皆さんをはじめ、学会事務局長・高橋達雄先生、同副事務局長・佐藤友紀先生の協力を得て、学会参加者5,400名、学会開催費1.33億円、地元の経済波及効果7億円という盛大かつ記憶に残る学会を金沢で開催することができました。皆さんの中にも学会に参加してくれた方、またはスタッフとして協力してくれた方など、大変お世話になりありがとうございました。私の近況については、研究室HPやFacebookをご覧ください。遊びながら働くことをポリシーに、「仕事は遊び、遊びは仕事」ことを常に心がけています。これからも気力・体力が続く限り、研究や社会連携に貢献できるように頑張りたいと思っています。写真は、10月19日土曜日開催の「骨粗鬆症エキスパートセミナー・教授退任会」の写真です。全国から55名が参集。記念写真集も作成しましたので、参加した同期からでも見せてもらってください。【犀川温泉郷 滝亭を全室借り切って実施、参加頂きました鬼平会の皆さん、大変ありがとうございました】



鬼平会関係では、夏以降の連絡で11佐々木（旧姓：大藪）まり、11祖堅（そけん）（旧姓：渡口）華奈、17濱出（旧姓：田子）静茄など、嬉しいニュースがありました。もし皆さんにもハッピーな話題がありましたら、ぜひご連絡ください。少し気が早いですが、来年は第11回鬼平会となります。幹事の皆さんには、企画をご検討いただければと思います。全国規模での開催は難しいと思いますので、ほぼ毎年年末に開催している沖縄支部のように支部単位の集まりであれば、より気軽に多くの皆さんが参加できると思います。本年の感謝と、来年への期待を込めて、年末の挨拶を少し早めにお届けさせていただきます。皆さんも良いお年をお迎えください。

2024年12月年末 三浦雅一

## Convention Information / コンベンション情報

# ◆「第26回日本骨粗鬆症学会」が開催されました

第26回日本骨粗鬆症学会は10月11日から13日に金沢市内の10会場で開催され、約5,400名が参加しました。12日には高円宮妃殿下にお成りいただき、学会設立25周年記念式典が石川県立音楽堂で行われました。石川県知事や金沢市長をはじめとする来賓の方々も臨席の中、500名の会員が参列しました。高円宮妃殿下は、能登半島地震の被災者へのお見舞いと学会へ

感謝を述べられました。

学会参加者からは、学会プログラム企画のみならず地元ならではの「食」と「文化」の趣向を凝らした交流会なども含めて、記憶に残る学会だったとの声が多く寄せられています。本学会は、今後も骨粗鬆症や骨折の予防・治療に注力し、健康長寿社会の実現を目指してまいります。

